【ハコスコ対応】VRゲームに ニフティクラウドmobile backend(mBaaS)を使って オンラインランキングを実装しよう



- ごあいさつ
- mBaaSについて
- 体験会について
- 事前準備
- mBaaSへの認証の準備
- ●データ更新実装
- ランキング実装
- まとめ

本日は二フティブースに お越しいただきありがとうございます。

ハンズオンはmBaaSを使ってUnityゲームにサー バー機能を、

「**素早く 無料**」で導入するハンズオンです。 ハンズオンでは下記の2つのことが体験できます。

- ゲームスコアの保存
- ・ランキングの実装

ぜひお楽しみください!

ニフティクラウドmobile backendとは?



スマートフォンアプリの**バックエンド機能**が

開発不要になるクラウドサービス

ニフティクラウドmobile backendとは mBaaS(mobile backend as a Service)と呼ばれる クラウドサービスのジャンルのひとつで、 スマートフォンアプリでよく利用される汎用的な機能を クラウドから提供するサービスです。

クラウド上に用意された機能を API・SDKで呼び出すだけで利用できるので、 サーバー開発・運用不要でよりリッチなバックエンド機能を アプリに実装することができ、工数削減による コストカット・スピードアップに貢献します。

※SDKはUnity,iOS, Android, JavaScriptの4つを提供しております。

提供中の機能













Unityに導入することで実現できること

UnitySDKで提供中の機能







Android・iOS各プラットフォームへの プッシュ通知配信



ユーザーログイン認証



オンラインランキング



本日のハンズオンで行うこと

データストアの更新・取得を利用した スコア保存・ランキングの実装



Time1.1.05813313

Time2.1.633207

Time3.3.28762817

Time4.4.422095

Time5.5.340795

VRレーシングゲームに ニフティクラウドmobile backendを導入します。

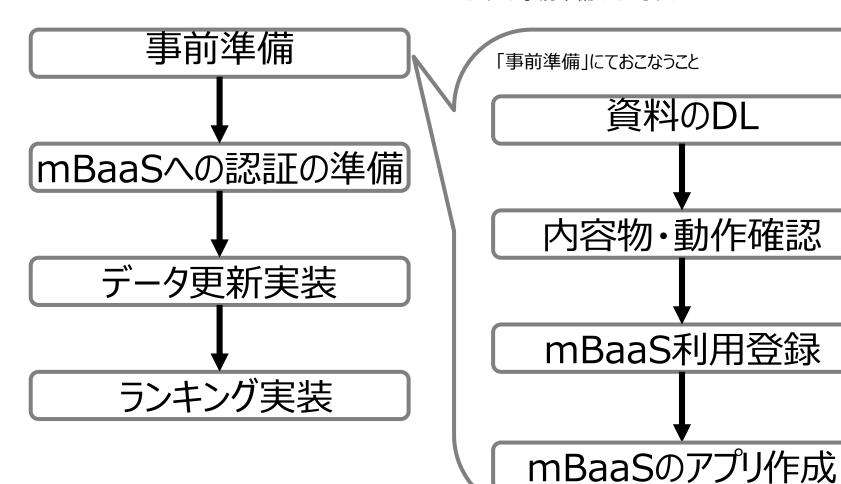
このハンズオンでは下記の二つのことが体験できます

- ・ゲームスコアの保存
- ・ランキングの実装

どちらもアーケード形式を想定してご案内いたします。 なにとぞよろしくお願いいたします。

体験会の流れ

本日の体験会は大きく分けて4つのフローで行います。 まずは事前準備からです。



※mBaaSのアプリ作成とは、 アプリ用のサーバー環境を作っています。

資料がしにあります

https://github.com/hounenhounen/NCMB_VR_hacoscon



内容物·動作確認

内容物確認

DLファイルフォルダには、以下の3つが含まれています。

Unityプロジェクト 「hacosco」 おまけコンテンツ「NCMB_VRGhost」



動作確認

ハンズオンで使うフォルダhacoscoの中に Asset> Scenes Start.sceneをダブルクリック してゲームを実行してくださいスタート時と プレイ時時に下記の画面が出ればひとまず大 丈夫です

> 実行・ゲームオーバー時に 下記の画面が出ればOK

「NCMB_VR_hacoscon」

本資料

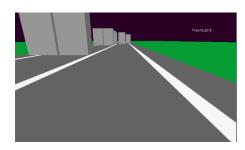
注意

- 本資料を置くフォルダのパスに 全角文字は使用しないでください。 エラーが表示されることがあります。
- 2. 本ファイルはUnity4系で作成しています。5系を利用の方はUpgradeが必要です。

ゲームスタート時の画面



ゲームプレイ時の画面



mBaaSの利用登録 1/2

まず、下記URLよりmBaaSのサービスサイトに アクセスしてください。

※右クリックして新しいタブで開くと便利です。

http://mb.cloud.nifty.com/

ここをクリック



無料登録をしていただくと、
@nifty会員登録を
行うフローに移ります。
登録いただいた後、
mBaaSにログインしていただくと
利用登録が行えます。
次項以降の説明に従い、
利用登録を行ってください。



mBaaSの利用登録 2/2

必要事項を入力して@nifty会員登録してください。

無料でID登録



個人情報の取り扱い及びenifty会員規約に同意し 管 緑



ここをクリック







mBaaSのアプリ作成

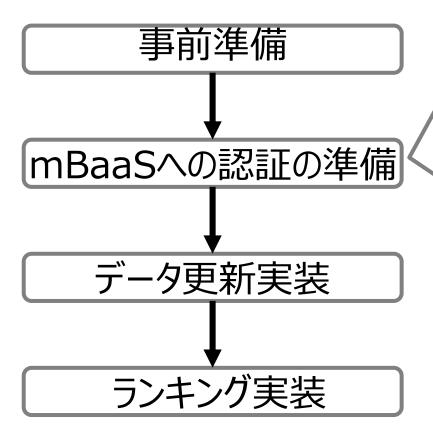
利用登録が終わると アプリの新規作成画面が表示されます。 アプリ名を入力して新規作成してください。



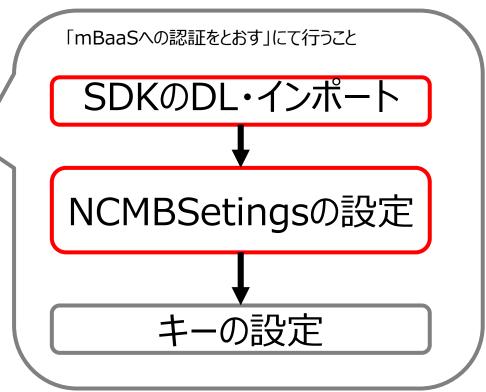


mBaaSは、「アプリケーションキー」 「クライアントキー」の2つのキーを使い、 サーバー接続の認証を行っています。 その2つのキーがアプリ作成時に生成されます。

ハンズオンの流れ



事前準備が終わりましたので次は自分のmBaaS環境 とUnityプロジェクトが通信できるようにします。



赤枠部分は、すでに作業を済ませていますので、 最後の「キーの設定」のみを行ってください。 また本資料には赤枠部分の説明もございます。 ※NCMBとはNifty Cloud Mobile Backendの略称です。

※参考資料※SDKのDL・インポート(作業済)NIFTY Cloud

DL終了後 インポート

※今回は本ページの作業を 行う必要はありません。

SDKのDL

https://github.com/NIFTYCloud-mbaas/ncmb_unity/releases

のページを開くと下記のページが開かれます。 赤丸の部分をクリックしてSDKをDLします。

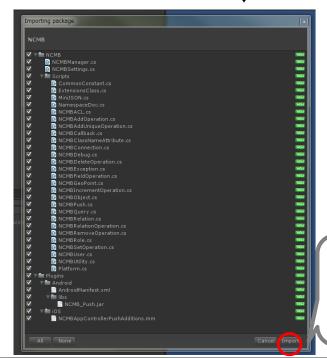
NIFTYCloud-mbaas / ncmb_unity

Releases Tags v1.1.4 Latest release mb ncmbsdk released this on 31 Mar % v1.1.4 -o- d36ec19 NCMBPushのプッシュ通知登録に以下の設定項目を追加 Category o DeliveryExpirationDate o DeliveryExpirationTime **Downloads** MCMB1.1.4.zip クリックすると Source code (zip) DLできます Source code (tar.gz)

SDKのファイルを展開すると 下記のような構成になっております。



先ほどDLしたサンプルゲームを開いた状態でNCMB_latestのUnity package file「NCMB」をダブルクリックすると下記」の画面が表示されます。



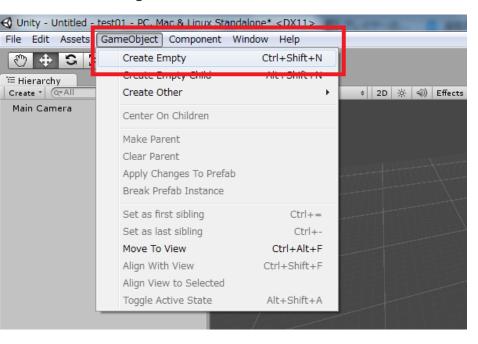
表示された 画面の「Import」 をクリックすると Import可能

※参考資料※ NCMBSettingsの設定(作業済》JFTY Cloud

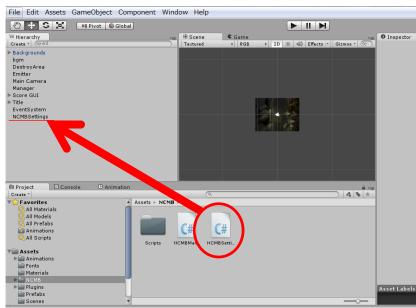
※今回は本ページの作業を 行う必要はありません。

mBaaSへの認証のための設定を行う NCMBSettingsスクリプトを利用するための作業を行います。

Asset>Scenesの「Start」シーンを開いて 空のGame Objectを作成し 「NCMBSettings」にリネームします

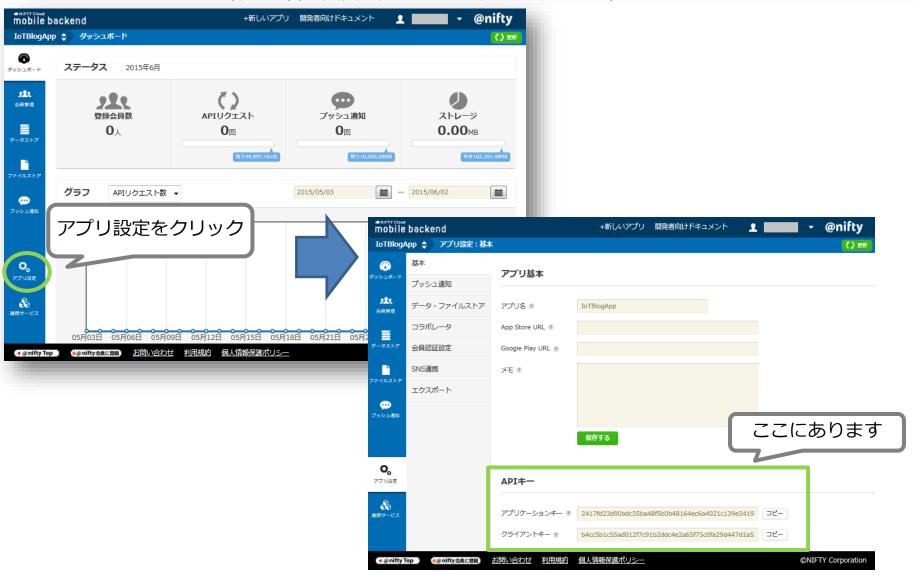


Asset>NCMBの「NCMBSettings.cs」を
「NCMBSettings」のゲームオブジェクト
にアタッチします。



キーの設定 1/2

まず、mBaaSのアプリ作成で管理画面を開いた方にキーの見方をご案内します。



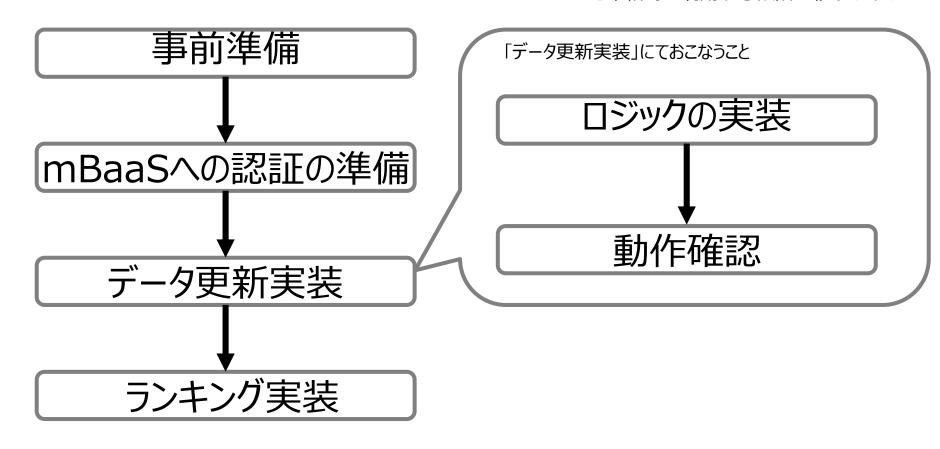
キーの設定 2/2

UnityのHierarchy配下にあるNCMBSettingsをクリックしそのインスペクター部分に アプリケーションキー、クライアントキーを設定します。



体験会の流れ

mBaaSへの認証の準備が終わりましたのでいよいよ mBaaSのSDKを本格的に利用する段階に移ります。



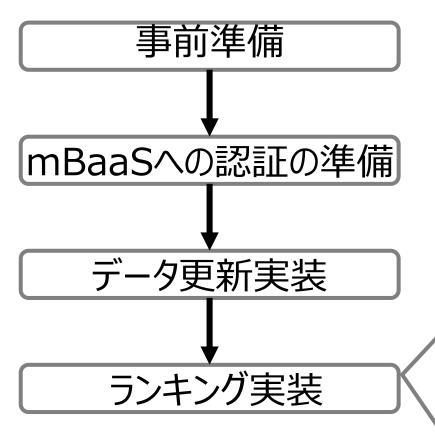
ロジックの実装

Assets > Scripts > Runner内にあるスクリプト「Timer.cs」の77行目からはじまるOnGoalに下記の黒文字で書かれているコードを実装してください。

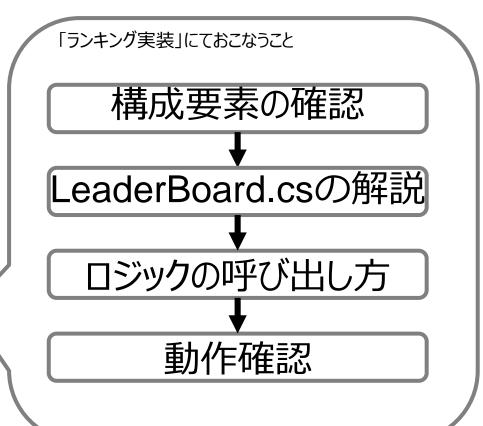
```
using UnityEngine;
using System.Collections;
using NCMB;
• (省略)
// Goal到着が検知されたとき
void OnGoal(){
         goal = true;
         //クラスの指定
         NCMBObject timeClass= new NCMBObject("Time");
         //カラムと挿入するデータの指定
         timeClass["time"] = lapTime;
         //非同期でのアップロード
         timeClass.SaveAsync();
```

実際にゲームを実行し、データがクラウドに保存されるか確認してください。

ハンズオンの流れ



データストアの取得を応用し、ランキングを作成します。 本体験会ではコーディングはせず、ランキングの構成要 素とロジックの解説を行います。



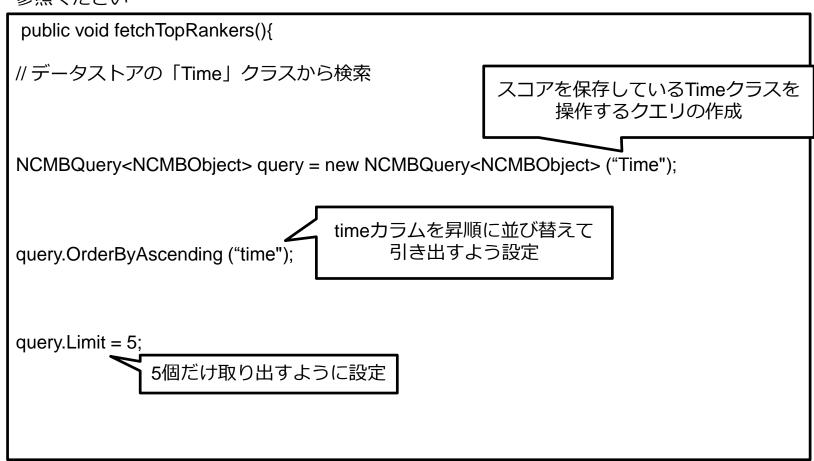
構成要素の確認

ランキングはAsset>Scripts >LeaderBoardのスクリプトで取得を、描画をTimer.csで行っています。 構成要素を整理して確認します。

- LeaderBoardフォルダには以下のスクリプトが含まれています
 - LeaderBoard.cs
 - mobile backendと接続して経過時間を引き出す
 - > Rankers.cs
 - 引き出したスコアと名前を一時的に保存するもの
- ランキングの描画は以下のメソッドで行っております
 - » Timer.csの55行目から71行目

LeaderBoard.csの解説 1/2

Assets > Scripts > LeaderBoard内にあるスクリプト「LeaderBoard.cs」を 参照ください



LeaderBoard.csの解説 2/2

Assets>Scripts>LeaderBoard内にあるスクリプト「LeaderBoard.cs」を 参照ください

```
query.FindAsync ((List<NCMBObject> objList ,NCMBException e) => {
               時間を引き出す操作
         if (e != null) {
                   //検索失敗時の処理
         } else {
                   //検索成功時の処理
                   List<NCMB.Rankers> list = new List<NCMB.Rankers>();
                   foreach (NCMBObject obj in objList) {
                           引き出したオブジェクトからtimeだけを取り出す
                            string t = System.Convert.ToString(obj["time"]);
                            list.Add( new Rankers( t ) );
----以下省略----
                              引き出した
                            時間をRankers
                             クラスに保存
```

ロジックの呼び出し方

今回、LeaderBoard.csはUnityに依存しない形で実装しています。 開発状態によってはUnityに依存しない形で実装したいこともあるかと思います。 その場合のメソッドの呼び出し方については下記で解説いたします。

LeaderBoard IBoard;

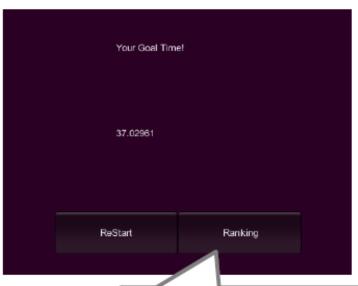
|Board = new LeaderBoard(); // LeaderBoard クラスのインスタンス生成

IBoard.fetchTopRankers(); //メソッドの呼び出し

なお、上記のコードはAssets>Scripts の「LeaderBoardManager.cs」にて記載されています。

動作確認

一度Asset>Scenesの「Start」シーンに戻っていただきゲームを実行してゴールしてください ゴール時の画面の下部「Ranking」ボタンをクリックしランキングが表示されることを確認してください



ランキングに 遷移

Top Ranking

Time1.1.05813313

Time2.1.633207

Time3.3.28762817

Time4.4.422095

Time5.5.340795

ここをクリック

上記のようにランキングが表示されたら成功です!

ゴール後管理画面よりデータストアを ご確認いただき左記のようにデータが 入っていることもご確認ください



まとめ

体験会は以上で終了です。お疲れ様でした! 本日は以下のことを体験していただきました。

- ・ゲームスコアの保存
- ・ランキングの実装

またmBaaSはデータストアだけでなく、プッシュ通知の配信なども行えます。 プッシュ通知の実装に関するドキュメントもございますのでこちらもぜひ一度お試しください。

●プッシュ通知の解説ドキュメント http://mb.cloud.nifty.com/doc/sdkguide/unity/push.html

この他にも不明点等ございましたら、 ユーザーコミュニティもご用意しておりますのでそちらもぜひご利用ください!

●ユーザーコミュニティ https://github.com/NIFTYCloud-mbaas/UserCommunity

本日はお忙しい中、二フティブースにお越しいただきありがとうございました。 今後とも二フティクラウドmobile backendをなにとぞよろしくお願いいたします。

補足: UnityRemote4でのデバッグ

このハコスコアプリをUnityRemote4でデバッグできます。 デバッグの方法は下記のUnityRemote4の ドキュメントに書かれています。

http://docs.unity3d.com/ja/current/Manual/UnityRemote4.html



ビルドをしなくても スマホでデバッグできます。

加速度などのセンサの値も 取得できるのでハコスコなどの 実機動作確認を行う際に使えます

Android:

https://play.google.com/store/apps/details?id=com.unity3d.genericremote

iOS:

https://itunes.apple.com/us/app/unity-remote-4/id871767552

補足:障害物生成プロジェクトについて

今回障害物のプロジェクトは 多くのUnityチュートリアルを執筆されている hiyotamaさんブログのcreatescript

http://hiyotama.hatenablog.com/entry/2015/05/09/080000

を参考にさせていただいています。

素晴らしいUnityの解説がたくさん載っていますので皆さん、ぜひお読みください。

hiyotamaさんありがとうございます!



ニフティとなら、きっとかなう。 With Us, **You Can**.

NIFTY Cloud

ニフティ クラウド